

【区役所・サンプラザ地区の再整備のあり方】

中野サンプラス

— 中野サンプラザPLUS —

- ・ 全国的に有名な「中野サンプラザ」を発展継承させるシンボル施設。
- ・ 庁舎とホール施設の間に、透光性の高い素材による大屋根を架け、全天候型の広場空間として整備し活用する。
- ・ 光あふれ自然の風が入り音の伝わる外部広場空間とする。
- ・ 警察大学校跡地の複合開発によりできる新しい街とサンモール・ブロードウェイ地区の活気あふれる旧来の中野らしい街とを結びつける象徴的空間とする。
- ・ 中野に関わる全ての人に開かれた広場として、(株)まちづくり中野21が窓口となり、子供たちの遊び場、人と人・人と企業・人と教養文化を結びつける場、中野区の情報発信の場として、日々の季節感を演出し、様々な企画運営を行う。
- ・ 施設デザインや運営のイメージは富山市のグランドプラザ、長岡市の長岡アオーレ等。
- ・ サンモールとはペDESTリアンデッキ、三丁目地区とは歩行者専用のアーチ橋「中野ゴールデンゲートブリッジ」で結び、安心安全な歩行者空間と街をつなぐ回遊動線を整備する。
- ・ 将来の中野駅ビルの再整備時には、駅前広場や駅上空にもデザインコードを合わせた大屋根を架けて、連続した景観とする。駅の整備イメージは大阪ステーションシティ、金沢駅東口広場等。